



令和元年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年6月7日

上場会社名 株式会社メディアシーク
 コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 令和元年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年7月期第3四半期の連結業績(平成30年8月1日～平成31年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年7月期第3四半期	1,369	26.6	86		52		72	
30年7月期第3四半期	1,081	3.1	142		100		68	

(注) 包括利益 元年7月期第3四半期 71百万円 (%) 30年7月期第3四半期 182百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年7月期第3四半期	7.49	
30年7月期第3四半期	7.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
元年7月期第3四半期	2,102	1,513	69.0	148.95
30年7月期	2,197	1,584	70.0	157.82

(参考) 自己資本 元年7月期第3四半期 1,451百万円 30年7月期 1,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年7月期		0.00		0.00	0.00
元年7月期		0.00			
元年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年7月期の連結業績予想(平成30年8月1日～令和元年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,852	23.3	118		74		87		8.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年7月期3Q	9,766,800 株	30年7月期	9,766,800 株
期末自己株式数	元年7月期3Q	23,319 株	30年7月期	23,319 株
期中平均株式数(四半期累計)	元年7月期3Q	9,743,481 株	30年7月期3Q	9,743,499 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、世界的な政治・経済環境の変動において先行き不透明な状況が続いていることから、日本経済全般に対する中長期的影響について引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、国内クライアント企業向けRPA(ロボットによる業務自動化)ツール導入のコンサルティング業務が拡大しつつあり、また、コンシューマー事業においては、スマートフォン向け広告収入が比較的堅調に推移しており、売上は前年同期より増加傾向にあります。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,369,516千円(前年同期比26.6%増)、営業損失は、86,826千円(前年同期は、142,887千円の営業損失)、経常損失は、52,502千円(前年同期は、100,294千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、72,989千円(前年同期は、68,463千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

(法人事業)

法人事業においては、主に国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。

国内クライアント企業向けRPA(ロボットによる業務自動化)ツールの導入コンサルティング業務が拡大し、当社グループが提供するRPAツール「ipaS」のライセンス数も堅調に拡大しています。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,110,941千円(前年同期比31.8%増)、セグメント利益は、35,949千円(前年同期は、14,573千円のセグメント損失)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」が2019年1月に累計2,900万ダウンロードを達成し、その後もダウンロード数を拡大しております。スマートフォン向け広告収入が比較的堅調に推移しているほか、2019年より開始した「黒羽麻璃央のワンダーランド」等、実写版シミュレーションゲームの利用が比較的堅調に拡大しております。

コンシューマー事業全体としては、ほぼ前年同期並の実績となりました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、258,548千円(前年同期比8.4%増)、セグメント利益は、37,102千円(前年同期比9.6%減)となりました。

(その他)

その他においては、前連結会計年度に新設した研究開発部門にて、動画配信及び画像解析等の分野の研究開発を中心とした事業開発を実施しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、26千円(前年同期比61.8%減)、セグメント損失は、16,531千円(前年同期は、26,157千円のセグメント損失)となりました。

なお、売上が発生しておりますが、現段階での研究開発活動における副次的な産物であり、僅少な金額に留まっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

資産の総額は、2,102,417千円(前連結会計年度末比4.3%減)です。

流動資産は、総資産の53.6%に相当する1,126,110千円(前連結会計年度末比12.4%減)です。流動資産の前連結会計年度末からの減少額は、159,838千円となっておりますが、この主要因は、現金及び預金が203,891千円減少したことによるものです。なお、現金及び預金の残高は、763,391千円となっております、依然流動資産の大きな割合を占めております。

固定資産は、総資産の46.4%に相当する976,307千円(前連結会計年度末比7.1%増)です。

有形固定資産は、総資産の2.5%に相当する53,506千円(前連結会計年度末比228.1%増)となっております。大幅な増加となっているのは、事務所増床工事が発生したことによります。無形固定資産は、総資産の0.1%に相当する1,946千円(前連結会計年度末比28.8%減)であり、いずれも僅少な割合となっております。

投資その他の資産は、総資産の43.8%に相当する920,853千円(前連結会計年度末比3.2%増)です。増加の主要因は、投資その他の資産のその他に含まれる敷金が増床により、23,502千円増加したことによるものです。投資その他の資産のその他の内訳として、長期滞留債権が26,650千円計上されておりますが、全額に相当する26,650千円について貸倒引当金が計上済みであるため、貸倒れの確定による多額の追加損失発生の恐れはありません。また、投資有価証券が802,986千円計上されておりますが、このうち785,175千円は時価を有する性質のもので

②負債の部

負債の総額は、負債純資産合計の28.0%に相当する589,175千円(前連結会計年度末比3.8%減)です。

流動負債は、負債純資産合計の18.7%に相当する393,766千円(前連結会計年度末比2.5%増)となっております。流動負債の前連結会計年度末からの増加額は、9,587千円となっておりますが、この主要因は、1年内返済予定の長期借入金が50,214千円減少した一方で、流動負債のその他に含まれる未払金が24,070千円増加したこと、預り金が21,821千円増加したこと及び未払費用が9,943千円増加したことによるものです。

固定負債は、負債純資産合計の9.3%に相当する195,408千円(前連結会計年度末比14.5%減)となっております。前連結会計年度末からの減少額は、33,025千円となっております、主に長期借入金が43,717千円減少したことによるものです。

③純資産の部

純資産の総額は、1,513,241千円(前連結会計年度末比4.5%減)であり、自己資本比率は、69.0%と高い水準を維持しております。純資産の前連結会計年度末からの減少額は、71,456千円となっておりますが、この主要因は、非支配株主持分が14,948千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が13,192千円減少したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が72,989千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成30年9月7日公表の業績予想の数値を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,282	763,391
売掛金	198,647	218,992
商品	2,390	2,611
仕掛品	15,564	16,643
その他のたな卸資産	3,500	4,140
その他	98,959	120,750
貸倒引当金	△395	△420
流動資産合計	1,285,948	1,126,110
固定資産		
有形固定資産	16,307	53,506
無形固定資産		
その他	2,732	1,946
無形固定資産合計	2,732	1,946
投資その他の資産		
投資有価証券	797,519	802,986
その他	121,455	144,518
貸倒引当金	△26,650	△26,650
投資その他の資産合計	892,323	920,853
固定資産合計	911,363	976,307
資産合計	2,197,312	2,102,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,484	47,359
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	201,526	151,312
未払法人税等	5,972	4,768
賞与引当金	22,096	16,335
関係会社整理損失引当金	5,041	5,041
その他	78,058	138,949
流動負債合計	384,179	393,766
固定負債		
長期借入金	199,458	155,741
資産除去債務	27,724	36,707
その他	1,251	2,960
固定負債合計	228,434	195,408
負債合計	612,614	589,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,267	823,267
資本剰余金	954,521	954,521
利益剰余金	△113,990	△186,979
自己株式	△39,704	△39,704
株主資本合計	1,624,093	1,551,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△83,230	△96,423
為替換算調整勘定	△3,177	△3,401
その他の包括利益累計額合計	△86,408	△99,824
新株予約権	3,313	3,313
非支配株主持分	43,699	58,648
純資産合計	1,584,698	1,513,241
負債純資産合計	2,197,312	2,102,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)
売上高	1,081,709	1,369,516
売上原価	903,058	1,085,586
売上総利益	178,650	283,929
販売費及び一般管理費	321,537	370,755
営業損失(△)	△142,887	△86,826
営業外収益		
受取利息	18,516	18,444
受取配当金	4,355	9,126
投資有価証券売却益	16,369	14,400
その他	7,708	1,990
営業外収益合計	46,950	43,961
営業外費用		
支払利息	3,961	3,788
投資有価証券評価損	—	4,516
その他	396	1,333
営業外費用合計	4,357	9,638
経常損失(△)	△100,294	△52,502
特別損失		
固定資産除却損	—	268
事務所移転費用	—	510
関係会社株式売却損	842	—
特別損失合計	842	778
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,136	△53,281
法人税、住民税及び事業税	2,925	2,700
法人税等調整額	△67	1,833
法人税等合計	2,857	4,534
四半期純損失(△)	△103,994	△57,815
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,531	15,173
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,463	△72,989

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年4月30日)
四半期純損失(△)	△103,994	△57,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,642	△13,192
為替換算調整勘定	△1,415	△448
その他の包括利益合計	△78,058	△13,640
四半期包括利益	△182,053	△71,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,813	△86,405
非支配株主に係る四半期包括利益	△36,239	14,948

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年8月1日 至 平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシュー マー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	843,029	238,609	1,081,638	70	1,081,709	—	1,081,709
セグメント間の 内部売上高又は振替高	720	—	720	—	720	△720	—
計	843,749	238,609	1,082,358	70	1,082,429	△720	1,081,709
セグメント利益又は 損失(△)	△14,573	41,049	26,476	△26,157	319	△143,206	△142,887

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年8月1日 至 平成31年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシュー マー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,110,941	258,548	1,369,489	26	1,369,516	—	1,369,516
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,110,941	258,548	1,369,489	26	1,369,516	—	1,369,516
セグメント利益又は 損失(△)	35,949	37,102	73,051	△16,531	56,520	△143,346	△86,826

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。